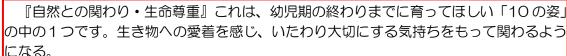


身近な生命との関わり

~大切に育てる・触れ合う~

9月号 時保育園



時保育園の周りには、四季折々の自然が広がり、子どもたちは、日々の生活の中でたく さんの命と出会っています。草花や稲、野菜や生き物との触れ合いを通して、自然の恵み や生命の尊さを感じています。



【虫捕り】

◎旧時小学校校庭へ虫捕りに行きました。子どもたちは「いた!こっち!」「かわいいね」「にげちゃった!」と、いろいろな声をあげています。小さな命に出会うことで、『生きている』ということを、見て触れて実感し、命を大切にする心が育っていることを感じます。



◎昨年の青組さん(現1年生)から受け継いだひまわりの種がきれいな花を咲かせました。種を植えると1週間で芽が出てびっくり。芽が出る喜び、グングン伸びる様子、そして花が咲いた感動を通して、「すごいねぇ」と、生命の不思議を感じています。



【カブトムシ来園!】

◎卒園児の保護者から、カブトムシを いただきました。子どもたちは、蜜 をなめる様子を真剣なまなざしで 見たり、そっと手のひらに乗せて動 く様子を観察したりしています。動 くたびに、「くすぐったい」と笑いな がらも、エサを入れ替えてお世話を しながら、その小さな命を大切にし ようとする姿が印象的でした。生き 物との出会いを通して、小さな命を 思いやる心も育っています。



【ぼくの野菜できた!】

◎親子で植えた野菜の苗がグングン育ち、 ついに収穫の時を迎えています。途中、 なかなか大きくならずに心配したり、カ ラスに盗られて悔しがったりという気持ちも経験しました。無事に収穫できて本 当に良かったです。自分たちで育てた野菜を手にした子どもたちは、とても誇らし気で、食べることが楽しくなり、自然の恵みが喜びに繋がりました。

